

令和6年度 事後評価シート

【事務事業シート】

1	当初	事項	競技力向上対策本部事業費						予算主管課	競技スポーツ課	
	事業概要	国スポを始めとする各種全国大会や国際大会等での本県選手の活躍は、県民に大きな夢や感動、活力を与えることから、効果的な競技力向上対策を推進し、競技スポーツの振興を図る。							始期	2007	
									終期		
	K P I	国民スポーツ大会入賞件数									
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
		R 4 年度		目標値	90 件	目標値	90 件	目標値	90 件	目標値	90 件
		実績値	80 件	実績値	74 件	実績値	84 件	実績値	件	実績値	件
		ストック/フロー	フロー	達成率	82.2 %	達成率	93.3 %	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計 予算額	393,282 千円	最終現計 予算額	394,710 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
			決算額	376,548 千円	決算額	383,380 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年度	要因分析	<p><b>要因</b> 本県の四国ブロック大会突破件数が、前年度比約12%増の65件まで増加したものの、目標の75件に届かなかったため、未達成となった可能性がある。</p> <p>総括</p>									
	見直し方向性	改善	KPI目標値の達成に向けて、高得点が期待できる新たな競技・種別の創出や、優れたスポーツ専門員の確保などに取り組み、本県選手の更なるパフォーマンス向上を図る。								
2	当初	事項	トップアスリート強化支援事業費						予算主管課	競技スポーツ課	
	事業概要	本県ゆかりのトップアスリートに強化支援金を支給することにより、競技成績の向上やオリンピック・パラリンピアンへの輩出に加え、将来、本県の指導者として活躍できるスポーツ人材の育成を図る。							始期	2014	
									終期	2028	
	K P I	強化支援金の交付回数(延べ回数)									
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
		R 4 年度		目標値	100 回	目標値	130 回	目標値	130 回	目標値	130 回
		実績値	104 回	実績値	116 回	実績値	108 回	実績値	回	実績値	回
		ストック/フロー	フロー	達成率	116 %	達成率	83.1 %	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計 予算額	10,680 千円	最終現計 予算額	10,150 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
			決算額	10,620 千円	決算額	8,750 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年度	要因分析	<p><b>要因</b> オリンピック開催年であるため、一部の競技において、例年どおり代表合宿や国際大会等が実施されなかったことにより、交付回数が減少した可能性がある。</p> <p>総括</p>									
	見直し方向性	維持	6年度の実績は目標値を下回ったが、本県選手の国際舞台等での活躍に向けて、今後も継続的に支援する必要があるため、見直し等は想定していない。								

3	当初	事 項	スポーツ医科学サポート事業費							予算主管課	競技スポーツ課
	事 業 概 要	国スポを始めとする各種大会で選手が高いパフォーマンスを発揮できるよう、健康管理やコンディショニング等、スポーツ医科学に関する専門的サポートを行う。								始期	2018
										終期	2028
	K P I	スポーツ医科学指導者派遣等事業の参加者数									
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
			R 4 年 度	目標値	5000 人	目標値	5000 人	目標値	5000 人	目標値	5000 人
		実績値	4204 人	実績値	4055 人	実績値	3496 人	実績値	人	実績値	人
		ストック /フロー	フロー	達成率	81.1 %	達成率	69.9 %	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト			最終現計 予算額	14,180 千円	最終現計 予算額	6,040 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	12,175 千円	決算額	6,040 千円	決算額	千円	決算額	千円
6 年 度	要因分析	<p><b>要因</b> 1 事業あたりの参加者数が前年度比約10%増加したものの、事業実施回数が約20%減少したため未達成となった。</p> <p><b>総括</b></p>									
	見直し方向性	維持	6年度の目標達成率が低調であったものの、本事業によるスポーツ医科学面での専門的サポートが、細施策KGI（国スポ天皇杯順位10位台）の達成に繋がったと考えられることから、7年度以降も継続して実施し、講習会等への更なる参加を促進する。								

4	当初	事 項	国民スポーツ大会費							予算主管課	競技スポーツ課
	事 業 概 要	国民スポーツ大会に参加する選手、監督、役員の負担軽減を図るため、派遣に要する経費を補助するほか、県スポーツ協会の機能強化を支援する。								始期	1946
										終期	
	K P I	国スポ派遣人数									
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
			R 4 年 度	目標値	680 人	目標値	680 人	目標値	680 人	目標値	680 人
		実績値	570 人	実績値	534 人	実績値	606 人	実績値	人	実績値	人
		ストック /フロー	フロー	達成率	78.5 %	達成率	89.1 %	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト			最終現計 予算額	96,186 千円	最終現計 予算額	91,091 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	76,442 千円	決算額	90,644 千円	決算額	千円	決算額	千円
6 年 度	要因分析	<p><b>要因</b> 本県の四国ブロック大会突破件数が、前年度比約12%増の65件まで増加したものの、目標の75件に届かなかったため、未達成となった可能性がある。</p> <p><b>総括</b></p>									
	見直し方向性	維持	KPI目標値の達成に向けて、引き続き選手等の負担軽減と県スポーツ協会の機能強化を図っており、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。								

5	当初	事 項	国スポ予選会派遣費等補助金							予算主管課	競技スポーツ課		
	事業概要	国スポ四国ブロック大会に参加する監督・選手の負担軽減を図るため、派遣に要する経費を補助する。								始期	1971		
										終期			
	K P I	国スポ四国ブロック大会突破件数											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
			R 4 年 度	目標値	75 件	目標値	75 件	目標値	75 件	目標値	75 件		
		実績値	62 件	実績値	58 件	実績値	65 件	実績値	件	実績値	件		
		ストック/フロー	フロー	達成率	77.3 %	達成率	86.7 %	達成率	%	達成率	%		
	コスト	最終現計	予算額	7,471 千円	最終現計	予算額	9,166 千円	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額	千円
		決算額	決算額	6,271 千円	決算額	7,556 千円	決算額	千円	決算額	千円			
6 年度	要因分析	<p>要因</p> <p>男子種別の成績不振等により、本県の四国ブロック大会突破件数が前年度比約12%増に留まったため、未達成となった可能性がある。</p> <p>総括</p>											
		見直し方向性	維持	KPI目標値の達成に向けて、引き続き県予選会の円滑な運営と選手等の負担軽減を図っており、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。									

6	当初	事 項	えひめ愛顔のジュニアアスリート発掘事業費							予算主管課	競技スポーツ課		
	事業概要	スポーツの潜在的な才能を有する子どもの発掘から育成、強化、競技適性の見極めまでの一貫支援体制を構築し、将来、オリンピックを始めとする国際大会で活躍するトップアスリートの輩出に取り組む。								始期	2015		
										終期	2029		
	K P I	国際大会年間出場者数（愛顔のジュニアアスリート認定者及び修了生・愛顔のジュニアスポーツアカデミー受講生）											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
			R 4 年 度	目標値	5 人	目標値	10 人	目標値	12 人	目標値	12 人		
		実績値	8 人	実績値	10 人	実績値	11 人	実績値	人	実績値	人		
		ストック/フロー	フロー	達成率	200 %	達成率	110 %	達成率	%	達成率	%		
	コスト	最終現計	予算額	28,597 千円	最終現計	予算額	31,621 千円	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額	千円
		決算額	決算額	25,118 千円	決算額	30,988 千円	決算額	千円	決算額	千円			
6 年度	要因分析	<p>要因</p> <p>総括</p>											
		見直し方向性	改善	6年度実績値11人は目標値の10人を上回り達成率110%と、ほぼ想定どおりの成果となり、7年度も現状の事業内容を踏まえるとKPIは目標達成することが見込まれる。しかしながら、事業関係者からのオリンピック輩出を果たすためには、国際大会で活躍するトップアスリートの裾野を広げる必要があり、細施策KGIとの高い相関関係からも8年度はさらにKPI目標値の引上げを図るとともに事業内容を拡充する。									

7	当初	事項	地域ぐるみ手づくり選手育成事業費						予算主管課	競技スポーツ課	
	事業概要	地域ジュニアクラブの体制強化に向け、選定したモデル地域（競技）へ指導者を配置するほか、高校強化指定校へのトップコーチ招へい支援等、地域ぐるみで選手やチームを育成する体制の整備を図る。							始期	2024	
									終期	2026	
	K P I	モデル地域（競技）の全国大会入賞件数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
			R 4 年 度	目標値	件	目標値	3 件	目標値	6 件	目標値	10 件
		実績値	- 件	実績値	件	実績値	5 件	実績値	件	実績値	件
		ストック/フロー	フロー	達成率	%	達成率	166.7 %	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終見積 予算額	千円	最終見積 予算額	26,889 千円	最終見積 予算額	千円	最終見積 予算額	千円	
			最終実績 決算額	千円	最終実績 決算額	22,618 千円	最終実績 決算額	千円	最終実績 決算額	千円	
6 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	1年目から目標値を超えているが、4競技のうち2競技（個人競技）の成果である。残る2競技は団体競技という特性上、全国大会での入賞のハードルは高いが、3か年のモデル事業として実施していることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。								